

【参考資料】

# 2024年度わが国貿易収支、経常収支の見通し

～ 輸出拡大・輸入減少、貿易収支は改善、経常収支黒字は過去最高へ～

---

2023年12月7日（木）発表  
貿易動向調査委員会



一般社団法人 日本貿易会  
Japan Foreign Trade Council, Inc.

# 日本貿易会 貿易見通しの特徴

- 日本貿易会 貿易動向調査委員会傘下の貿易見通し作成専門委員会に参加する**商社7社\***が共同で見通しを作成

\* 7社（社名五十音順）

伊藤忠商事(株)、住友商事(株)、双日(株)、豊田通商(株)、丸紅(株)、三井物産(株)、三菱商事(株)

- 社内外へのヒアリングなどに基づく「**商品別積み上げ方式**」 + 「**マクロ的分析**」により作成
- 1974年から開始（**2023年で50年目**、延べ69回目）

# 前提条件とした経済環境

	2022	2023	2024
世界貿易 (暦年)	3.4 %	0.0 %	3.0 %
世界経済 (暦年・実質)	3.5 %	2.9 %	2.7 %
米    国	2.1 %	2.1 %	1.5 %
ユ    ー    ロ    圏	3.3 %	0.6 %	1.0 %
アジア新興国市場及び途上国・地域	4.5 %	5.2 %	4.7 %
日本経済 (年度・実質)	1.4 %	1.9 %	1.1 %

(注1) アジア新興国市場及び途上国・地域はIMF定義によるEmerging and Developing Asia。

(注2) 上記の前提条件に加え、11月中旬の外国為替市場および原油市場の動向を参考に、円相場は2023年度143円/ドル、2024年度138円/ドル。原油入着価格は2023年度86ドル/バレル、2024年度88ドル/バレルとの前提条件において積み上げ作業を実施。

1. 世界的な金融引き締めの影響などから、2024年にかけて世界経済は減速するものの、大幅な鈍化は回避。
2. 経済活動は一段と正常化に向かい、世界貿易は2023年の抑制された状態から復調する。
3. エネルギー価格の高騰は想定せず。為替は緩やかな円高方向を想定。

# 今回の予測結果

輸出拡大・輸入減少、貿易収支は改善、経常収支黒字は過去最高へ

1. 通関輸出は、2023年度が前年度比1.9%増の101.1兆円、  
2024年度は同2.1%増の103.3兆円。

- 2023年度は、世界経済の減速により数量は減少するものの、物価高や円安の効果などにより、幅広い品目で輸出価格が上昇する。
- 2024年度は、世界貿易は復調するが、円高により価格上昇は限定的。

2. 通関輸入は、2023年度が前年度比11.6%減の107.2兆円、  
2024年度は同1.7%減の105.4兆円。

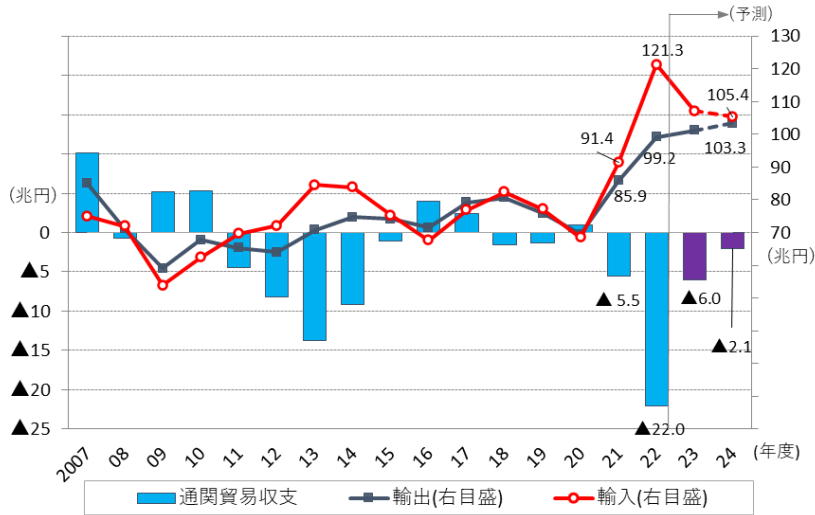
- 2023年度は、鉱物性燃料の数量減や価格下落により、大幅な減少。
- 2024年度は、数量は小幅増。資源価格は小幅に上昇するものの円高の影響もあり、価格は低下。

3. 経常収支黒字は2023年度25.6兆円、2024年度27.0兆円。

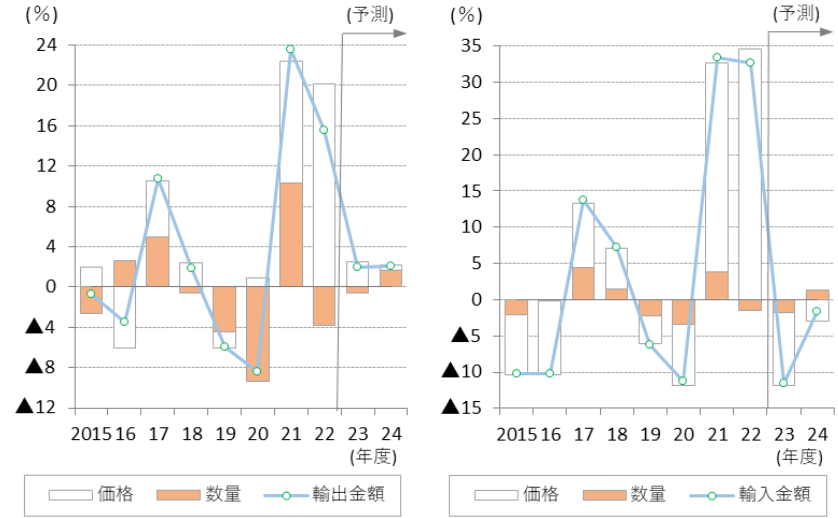
- 2023年度は、貿易赤字の大幅な縮小、第一次所得収支黒字の拡大、サービス収支赤字の縮小により、経常収支黒字が過去最高を更新。
- 2024年度は、貿易赤字の縮小により、経常収支黒字は引き続き拡大。

# 通関貿易収支の見通し

## 日本の貿易収支（通関ベース）



## 数量と価格の推移（前年度比）

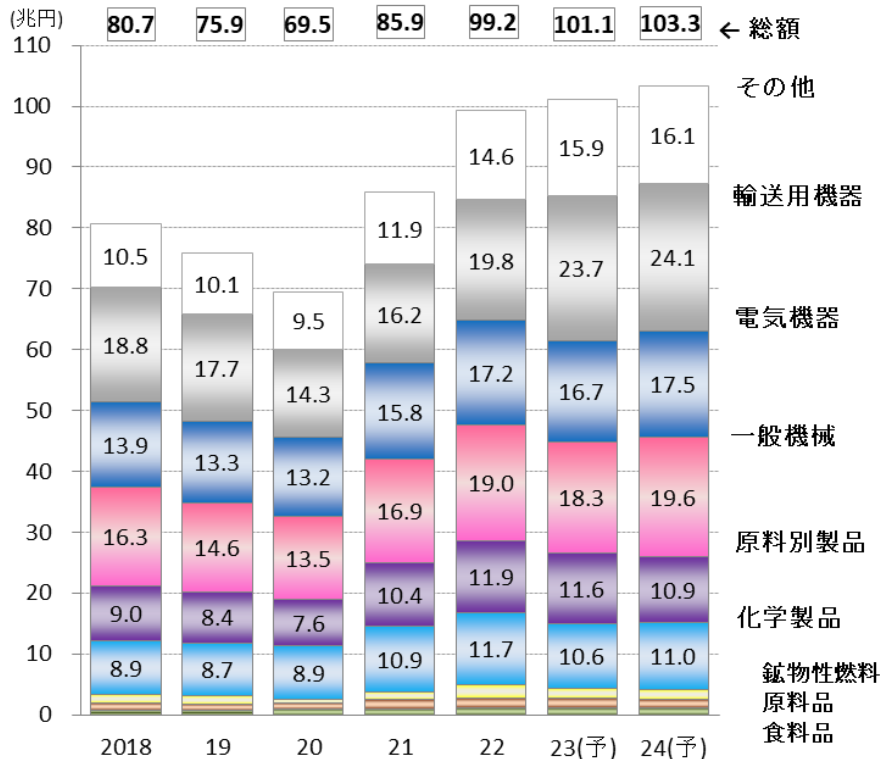


	2022年度 実績		2023年度 見込み		2024年度 見通し	
	(10億円)	対前年度比増減 (伸び率)	(10億円)	対前年度比増減 (伸び率)	(10億円)	対前年度比増減 (伸び率)
<b>通関貿易収支</b>	<b>▲ 22,035</b>	<b>-16,366</b>	<b>▲ 6,044</b>	<b>+15,992</b>	<b>▲ 2,086</b>	<b>+3,957</b>
<b>輸 出</b>	<b>99,225</b>	<b>(15.5%)</b>	<b>101,149</b>	<b>(1.9%)</b>	<b>103,302</b>	<b>(2.1%)</b>
数量要因		-3.9%		-0.6%		1.6%
価格要因		20.2%		2.5%		0.6%
<b>輸 入</b>	<b>121,260</b>	<b>(32.5%)</b>	<b>107,192</b>	<b>(-11.6%)</b>	<b>105,389</b>	<b>(-1.7%)</b>
数量要因		-1.5%		-1.8%		1.3%
価格要因		34.5%		-10.0%		-3.0%

# 品目別輸出の見通し

- **2023年度** … 輸出額が大きい輸送用機器が大幅増となり、3年連続で過去最高を更新。一方で、一般機械、電気機器、素材関連、食料品などが減少。
- **2024年度** … 2023年度に続き、高水準を維持。輸送用機器に加え、半導体関連の回復により一般機械や電気機器が増加。一部の素材も増加へ。

日本の品目別輸出（年度）

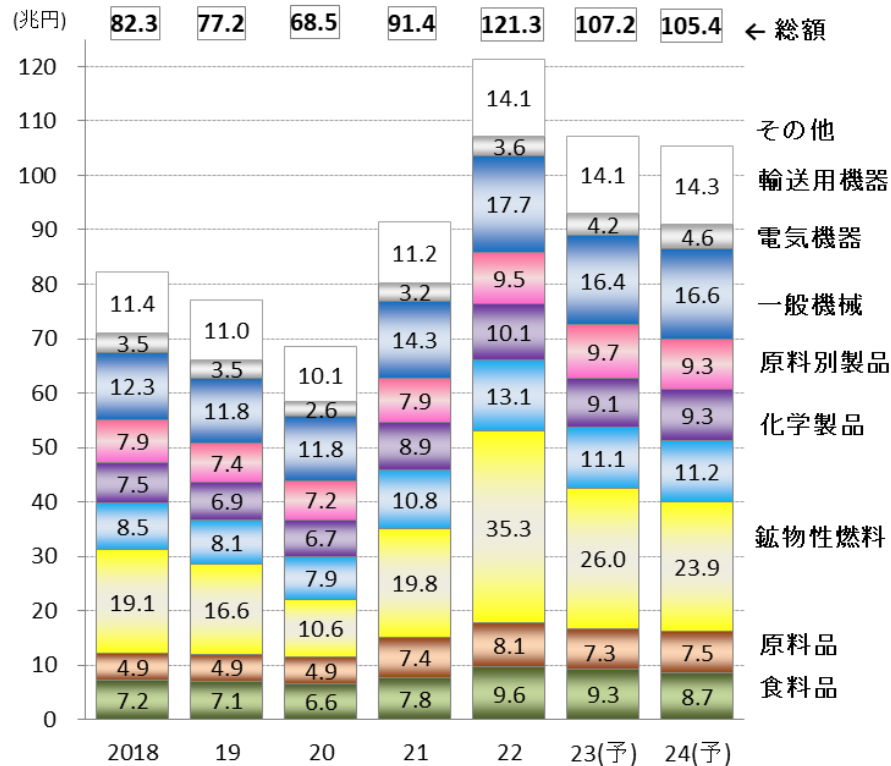


(主な具体的商品)	2022年度 シェア(%)	前年度比増減率 (%)		
		2022	23(予)	24(予)
<b>輸出総額</b>	<b>100.0</b>	<b>15.5</b>	<b>1.9</b>	<b>2.1</b>
食料品	1.2	14.6	▲ 1.4	▲ 6.8
原料品 (生ゴム、金属スクラップ)	1.6	9.1	▲ 6.0	0.5
鉱物性燃料	2.3	84.1	▲ 27.4	▲ 7.1
化学製品 (プラスチック、有機化合物、化粧品、医薬品)	11.8	7.3	▲ 9.0	3.4
原料別製品 (鉄鋼、非鉄金属、繊維製品、ガラス、タイヤ)	12.0	13.8	▲ 2.5	▲ 5.7
一般機械 (原動機、建設・鉱山機械、金属加工機械)	19.2	12.3	▲ 3.8	7.1
電気機器 (電子部品、電気計測機器)	17.4	9.2	▲ 3.0	4.5
輸送用機器 (自動車、自動車部品、船舶)	19.9	21.7	20.0	1.8
その他 (科学光学機器)	14.7	22.8	9.0	1.0

# 品目別輸入の見通し

- **2023年度** … 鉱物性燃料の大幅減が全体を押し下げ。電気機器、化学製品、食料品など幅広い製品が減少する中、輸送用機器は増加。
- **2024年度** … 鉱物性燃料の減少の影響が引き続き大きいものの、電気機器、化学製品、原料別製品などが増加に転じる。半導体関連も増加。

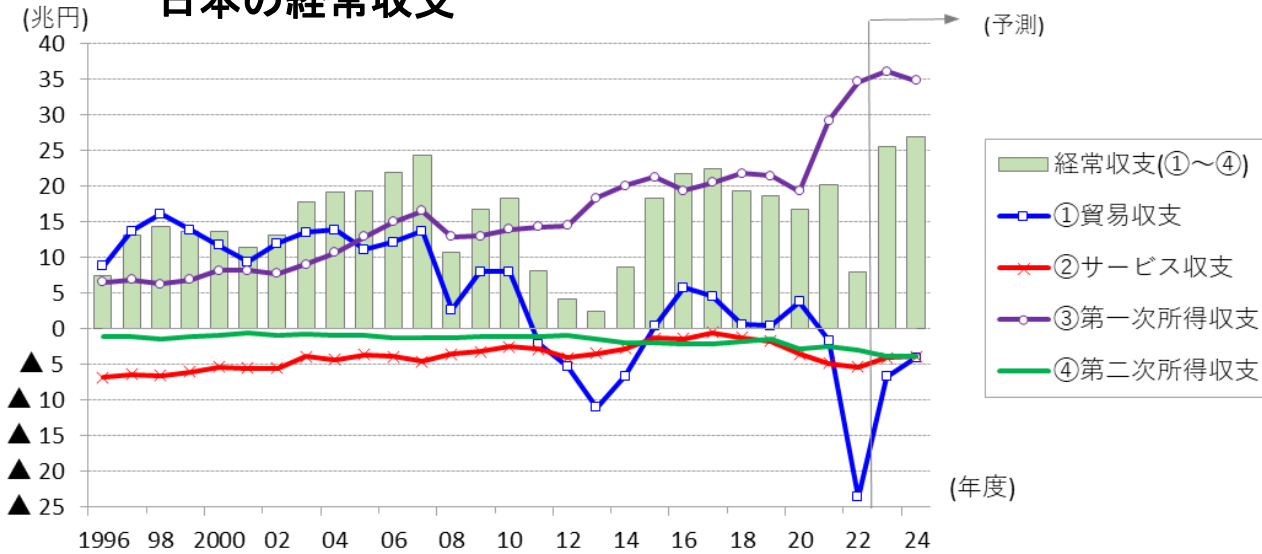
日本の品目別輸入（年度）



(主な具体的商品)	2022年度 シェア(%)	前年度比増減率(%)		
		2022	23(予)	24(予)
<b>輸入総額</b>	<b>100.0</b>	<b>32.7</b>	<b>▲ 11.6</b>	<b>▲ 1.7</b>
食料品	8.0	23.5	▲ 3.6	▲ 6.7
原料品 (鉄鉱石、非鉄金属鉱)	6.7	9.7	▲ 9.3	2.4
鉱物性燃料 (原油、LNG、石炭)	29.1	78.0	▲ 26.5	▲ 8.1
化学製品 (医薬品、有機化合物)	10.8	21.8	▲ 15.5	1.0
原料別製品 (非鉄金属、鉄鋼、繊維製品、ガラス)	8.4	13.6	▲ 10.4	2.8
一般機械 (コンピュータ・周辺機器)	7.9	21.2	1.8	▲ 4.3
電気機器 (通信機、電子部品)	14.6	24.2	▲ 7.6	1.3
輸送用機器 (自動車、航空機)	2.9	9.4	18.8	9.0
その他 (衣類、科学光学機器)	11.6	25.7	▲ 0.1	1.7

# 経常収支の見通し

## 日本の経常収支



(注1) 第一次所得収支は、直接投資収益や証券投資収益など、対外債権・債務から生じる利子・配当金の収支。

第二次所得収支は、官民の無償資金協力、寄付、贈与、賠償金などの収支。

(注2) 国際収支統計上の貿易収支の改善や悪化は、通関貿易統計と概ね連動するが、輸入の定義の違い(運賃や保険料を控除)などにより収支の水準が異なる。

	2022年度 実績		2023年度 見込み		2024年度 見通し	
	(10億円)	対前年度比増減 (伸び率)	(10億円)	対前年度比増減 (伸び率)	(10億円)	対前年度比増減 (伸び率)
<b>貿易・サービス収支</b>	▲ 23,662	-17,242	▲ 6,710	+16,953	▲ 4,054	+2,656
<b>貿易収支</b>	▲ 18,301	-16,758	▲ 2,682	+15,619	▲ 144	+2,538
輸出	99,674	(16.4%)	101,606	(1.9%)	103,769	(2.1%)
輸入	117,974	(35.3%)	104,288	(-11.6%)	103,913	(-0.4%)
<b>サービス収支</b>	▲ 5,362	-473	▲ 4,028	+1,333	▲ 3,910	+118
<b>第一次所得収支</b>	34,655	+5,692	36,103	+1,448	34,784	-1,319
<b>第二次所得収支</b>	▲ 2,998	-562	▲ 3,840	-843	▲ 3,778	+62
<b>経常収支</b>	7,995	-12,101	25,553	+17,558	26,952	+1,400

(注) 金額は表示単位未満を四捨五入しているため計算が合わないことがある。



**(補 足)**

# 輸出 品目別増減

品目	2022年度 (実績)		2023年度 (見込み)				2024年度 (見通し)			
	10億円	伸び率%	上半期		下半期		10億円	伸び率%		
			(実績)	伸び率%	(見込み)	伸び率%				
<b>総額</b>	99,225	+15.5%	50,243	+1.4%	50,906	+2.5%	101,149	+1.9%	↑ 103,302	+2.1%
EX 01 食料品	1,159	+14.7%	580	+0.3%	562	▲3.1%	1,143	▲1.4%	↓ 1,065	▲6.8%
EX 02 原料品	1,594	+9.1%	797	▲4.7%	701	▲7.5%	1,498	▲6.0%	→ 1,506	+0.5%
EX 03 鉱物性燃料	2,269	+83.9%	654	▲47.2%	993	▲3.6%	1,647	▲27.4%	↓ 1,530	▲7.1%
EX 04 化学製品	11,687	+7.3%	5,468	▲8.9%	5,167	▲9.1%	10,635	▲9.0%	↑ 11,000	+3.4%
EX 05 原料別製品	11,890	+13.8%	5,840	▲4.1%	5,750	▲0.9%	11,590	▲2.5%	↓ 10,932	▲5.7%
鉄鋼	4,763	+15.1%	2,299	▲7.1%	2,252	▲1.6%	4,551	▲4.4%	↓ 4,205	▲7.6%
非鉄金属	2,492	+16.7%	1,236	▲2.6%	1,180	▲3.5%	2,416	▲3.0%	↓ 2,321	▲3.9%
織物用糸・繊維製品	777	+12.7%	394	+1.0%	435	+12.2%	828	+6.6%	→ 827	▲0.2%
EX 06 一般機械	19,010	+12.3%	9,099	▲3.4%	9,180	▲4.3%	18,279	▲3.8%	↑ 19,580	+7.1%
原動機	2,858	+11.7%	1,467	+5.6%	1,500	+2.1%	2,967	+3.8%	→ 2,948	▲0.6%
半導体等製造装置	4,046	+13.7%	1,643	▲21.3%	1,688	▲13.9%	3,330	▲17.7%	↑↑ 4,163	+25.0%
EX 07 電気機器	17,231	+9.2%	8,301	▲4.9%	8,414	▲1.0%	16,715	▲3.0%	↑ 17,467	+4.5%
半導体等電子部品	5,694	+12.0%	2,676	▲7.6%	2,767	▲1.1%	5,443	▲4.4%	↑ 5,766	+5.9%
電気計測機器	1,959	+4.4%	935	▲5.2%	978	+0.5%	1,913	▲2.3%	↑ 1,951	+2.0%
EX 08 輸送用機器	19,752	+21.8%	11,864	+26.9%	11,833	+13.7%	23,697	+20.0%	↑ 24,123	+1.8%
自動車	13,735	+28.0%	8,741	+37.9%	8,738	+18.2%	17,479	+27.3%	→ 17,544	+0.4%
自動車の部分品	3,730	+2.0%	1,978	+3.0%	1,884	+4.1%	3,862	+3.5%	→ 3,894	+0.8%
船舶	1,203	+20.7%	615	+3.9%	594	▲2.8%	1,209	+0.5%	↑↑ 1,427	+18.0%
EX 09 その他	14,632	+22.9%	7,640	+4.3%	8,304	+13.7%	15,944	+9.0%	→ 16,100	+1.0%
科学光学機器	2,534	+8.8%	1,260	▲0.7%	1,291	+2.0%	2,551	+0.7%	↓ 2,520	▲1.2%

\*2023年度上半期の実績は確報ベース、金額は表示単位未満を四捨五入しているため計算が合わないことがある。

\*「↑」は前年度比増加、「↓」は減少、「→」は横ばい(前年度比±1%未満)を表している。

# 輸入 品目別増減

品目	2022年度 (実績)		2023年度 (見込み)				2024年度 (見通し)				
	10億円	伸び率%	上半期		下半期		10億円	伸び率%			
			(実績)	伸び率%	(見込み)	伸び率%					
<b>総額</b>	121,260	+32.6%	52,957	▲12.7%	54,235	▲10.5%	107,192	▲11.6%	↓	105,389	▲1.7%
IM 01 食料品	9,644	+23.5%	4,784	▲3.1%	4,512	▲4.1%	9,296	▲3.6%	↓	8,675	▲6.7%
魚介類	1,982	+24.3%	900	▲8.1%	987	▲1.6%	1,887	▲4.8%	↓	1,844	▲2.3%
肉類	1,921	+17.5%	968	▲6.9%	928	+5.2%	1,896	▲1.3%	↓	1,870	▲1.4%
IM 02 原料品	8,075	+9.3%	3,768	▲10.4%	3,554	▲8.2%	7,322	▲9.3%	↑	7,502	+2.4%
鉄鉱石	1,691	▲19.4%	825	▲8.9%	905	+15.3%	1,731	+2.4%	↓↓	1,429	▲17.4%
非鉄金属鉱	2,549	+20.1%	1,353	+6.7%	1,061	▲17.2%	2,414	▲5.3%	↑↑	2,817	+16.7%
IM 03 鉱物性燃料	35,320	+77.6%	12,059	▲32.4%	13,900	▲20.5%	25,959	▲26.5%	↓	23,860	▲8.1%
原油及び粗油	13,819	+72.3%	5,157	▲29.3%	6,599	+1.2%	11,756	▲14.9%	↓	11,340	▲3.5%
石油製品	2,918	+25.9%	1,212	▲17.9%	1,227	▲14.9%	2,439	▲16.4%	→	2,432	▲0.3%
LNG	8,890	+77.6%	2,667	▲37.9%	3,326	▲27.6%	5,993	▲32.6%	↓	5,652	▲5.7%
LPG	1,033	+24.7%	363	▲30.3%	622	+21.4%	985	▲4.7%	↓	962	▲2.4%
石炭	8,586	+139.6%	2,635	▲37.3%	2,099	▲52.1%	4,734	▲44.9%	↓↓	3,429	▲27.6%
IM 04 化学製品	13,147	+21.6%	5,667	▲14.2%	5,446	▲16.7%	11,113	▲15.5%	↑	11,225	+1.0%
IM 05 原料別製品	10,138	+13.5%	4,534	▲14.1%	4,554	▲6.3%	9,088	▲10.4%	↑	9,341	+2.8%
鉄鋼	1,474	+22.6%	653	▲15.5%	641	▲8.6%	1,294	▲12.2%	↑	1,379	+6.5%
非鉄金属	3,125	▲0.2%	1,235	▲27.6%	1,233	▲13.2%	2,468	▲21.0%	↑	2,529	+2.5%
織物用糸・繊維製品	1,276	+23.2%	578	▲10.8%	653	+4.0%	1,231	▲3.5%	→	1,224	▲0.6%
IM 06 一般機械	9,543	+21.2%	4,715	▲0.0%	5,000	+3.6%	9,715	+1.8%	↓	9,300	▲4.3%
電算機類(含周辺機器)	2,705	+12.7%	1,194	▲10.3%	1,238	▲9.8%	2,432	▲10.1%	↑	2,550	+4.9%
IM 07 電気機器	17,735	+24.2%	8,394	▲2.7%	8,000	▲12.1%	16,394	▲7.6%	↑	16,600	+1.3%
半導体等電子部品	5,026	+36.8%	2,291	▲9.8%	2,037	▲18.1%	4,328	▲13.9%	↑	4,637	+7.1%
通信機	3,849	+13.8%	1,623	▲9.4%	1,728	▲16.0%	3,351	▲12.9%	↓	3,270	▲2.4%
IM 08 輸送用機器	3,553	+9.5%	2,056	+28.7%	2,165	+10.7%	4,221	+18.8%	↑	4,560	+8.0%
自動車	1,601	+20.6%	971	+34.6%	980	+11.4%	1,951	+21.8%	↑	2,040	+4.5%
航空機類	416	▲35.4%	282	+77.5%	364	+41.5%	646	+55.2%	↑↑	826	+27.9%
IM 09 その他	14,104	+25.5%	6,980	+1.9%	7,104	▲2.1%	14,084	▲0.1%	↑	14,327	+1.7%
衣類・同付属品	3,627	+26.4%	1,778	▲1.3%	1,799	▲1.5%	3,577	▲1.4%	↑	3,673	+2.7%
製品輸入	68,220	+21.0%	32,345	▲4.0%	32,269	▲6.6%	64,614	▲5.3%	↑	65,352	+1.1%
		+56.3%		61.1%		59.5%		60.3%			62.0%

\*2023年度上半期の実績は9桁速報ベース、金額は表示単位未満を四捨五入しているため計算が合わないことがある。

\*「↑」は前年度比増加、「↓」は減少、「→」は横ばい(前年度比±1%未満)を表している。

\*魚介類は貿易統計の概況品目「魚介類及び同調製品」、肉類は「肉類及び同調製品」を指す。

# 「通関貿易収支」と經常収支の「貿易収支」の違い

- 「通関貿易収支」：通関ベース

モノの貿易に特化して商品別に細かく分析しているため、**国や企業の経済活動状況や景況感がわかる**

- 「貿易収支」：決済ベース

国際的な資金の流れとして貿易収支を分析しているため、**諸外国との財貨・サービス・カネの動きがわかる**

